

令和 6 年 9 月 13 日現在

機関番号：17102

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19H00540

研究課題名（和文）障害の歴史性に関する学際統合研究 ―比較史的な日本観察―

研究課題名（英文）An Interdisciplinary and Comparative Approach to the Study of the Historicity of Disability: Reflections on Japan from a Comparative Historical Perspective

研究代表者

高野 信治（TAKANO, Nobuharu）

九州大学・大学図書館・協力研究員

研究者番号：90179466

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 34,500,000円

研究成果の概要（和文）：近代を中心に進められてきた障害の歴史研究を批判的に継承し、障害の認識がどのように形成されたのか、障害者の実態はいかなるものであったのかを、多角的かつ通時的に捉える成果をあげた。すなわちその認識が生産性の問題として近代に成立すると考えられてきたことを踏まえ、前近代（古代～近世）で障害がどのように表象化されていたのかを検証した。さらに、障害者の生活と社会・国家との関係という観点より、病・身体を含めた命の問題から生活・優生問題なども踏まえ、社会的な存在としての障害者の実像を明らかにした。

加えて、今後の斯界の研究進展の基盤となるデータ集（史料目録・文献目録）も作成した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

障害はマジョリティ性を持つと考えられつつあり、その意味で特別視しない見方が現代では強まっているが、これまで障害とともに生きてきた人々の歴史性を不問に付すことはできない。

障害学という学問分野は障害概念が近代に成立したことを背景とし、現代的な意味合いが強く、障害問題と将来的にいかに向きあうか、というビジョンを持つ。しかし、障害という認識、概念が誕生する以前の障害の検証は、現代のあり方・問題を批判的に相対化するためにも必要だろう。本研究は障害概念が成立する以前の前近代をも射程にした「障害史学」という思惑を持ち、障害を歴史的観点から検証し、現代そして将来の重要な問題として捉えることを目的とする。

研究成果の概要（英文）：This research critically inherits previous studies on the history of disabilities and achieves a multidimensional and diachronic understanding of how the recognition of disabilities was formed and what the realities of disabled individuals were. It examines how disabilities were represented in pre-modern times, taking into account the assumption that such recognition emerged as a problem of productivity in the modern era. Furthermore, from the perspective of the relationship between the lives of disabled individuals and society/state, it sheds light on the true image of disabled individuals as social entities, considering issues related to life and eugenics based on the issues of health and the body, among others.

Additionally, it has compiled a dataset (catalogs of historical materials and literature) that will serve as the foundation for future developments in this field of study.

研究分野：日本近世史

キーワード：障害史学 認識 実態 多角的 通時的

1. 研究開始当初の背景

本研究は、障害について、身心機能の損傷によるもの (impairment) と社会・文化的に構築されたもの (disability) を想定し、時代を超えた分析が進められつつある欧米の研究動向に触発され、障害の歴史性をめぐり、関連する諸分野の方法や内容を統合的に捉え、もって障害と共生のあり方を問いたい。

障害は人類史にとって普遍的な意味合いを持つ。高齢にともない身心の機能低下が生じ、誰もが障害者になる可能性がある。また日常的な行動 (生業、生活、戦争など) による傷病・ストレスなどでも障害者同様の状態となることもある。人に障害は付帯し、マジョリティ性を持つ。しかし、「障害」という呼称が特定の人々の状態に用いられるようになるのは、健康な体で経済的に自立した生活を営み、国家・社会に有益な働きをなすことが求められる近代以降という見方が通説で、その意味では障害はマイノリティ性を帯びる。

現代社会でいう障害者のような状態になる可能性を人は持つが、前近代の人々は、障害 (広義の意味を持つと考え、障害と表現) をどのように認識し、いかに生活、生を全うしていたのか。またそもそも疾病・傷病のなかから、どのように障害や近代的「障害」の区別が生じるのか。本研究は前近代・近代を通じた長い時間軸のなか、障害・疾病の実体や認識、またそれが特別視される過程とその意味を、社会、文化、医学などの歴史的環境のなかで統括的に捉え、もって、福祉機能の低下が懸念される日本の将来において、誰もがなり得るマジョリティ性を持つ障害 (者) といかに共生するか、その道筋を得たいと考えた。

2. 研究の目的

現代では障害を特別視しない考え方が強まっている。しかし、それはこれまで障害を持って生きてきた人々の歴史性を不問に付すことにもなる。「障害学」という学問分野は「障害」概念が近代に成立したことを背景とし、現代的な意味合いが強い。それは必要なことで、障害問題と将来的にいかに向きあうか、というビジョンを持つ。しかし、障害という認識、概念が誕生する以前の障害の検証は、現代のあり方・問題を批判的に相対化するためにも必要だろう。本研究は「障害」概念が成立以前の前近代をも射程にした「障害史学」という思惑を持ち、障害を歴史的観点から検証し、現代そして将来の重要な問題として捉えることを目的とする。

3. 研究の方法

障害の歴史研究をめぐるとして次のようなことが科研プロジェクトで共有された。

第一に比較史ということである。これは、地域 (国) 相互の観察による歴史検証であるが、とくに障害の考え方をめぐるとして欧米と日本の差異を念頭におく。欧米では地域別、障害種別、時代別かつそれを踏まえた通史研究がみられる。また、ハンセン病資料館・医療系資料館を除けば、障害史博物館が皆無といえる日本に対し、欧米各国には例外なく存在する。このような、障害の歴史をめぐるとして、研究のあり方や博物館・資料館の存在の彼我の違いに、日本における障害のあり方が表出しているのではないのかと考えられる。

第二に、通史である。これは第一とも関連するが、日本では未だ不十分と思われる。障害種別の研究 (とくに盲人 = 視覚障害者) や時代限定の研究 (中世、近世、近現代) はある。しかし、時代を超えて「障害」をどのように捉えられるのか、それは地域的 (国別) 時代的にいかなるバリエーションがあり、また変化するのか、ということは問われなければならないだろう。とくに日本では、資本主義が導入される近代にいたって、障害 (者) のあり方が問われるようになる。「障害者問題」の考え方が提示され、自ずと近代における研究 (教育・福祉・人権・優生思想など) が集中的に行われてきた。むしろ、各時代における「障害者問題」の実相・性格やその変化を追う姿勢が重要である。

第三に、障害の認識・概念である。一定の見解を得るのは難しいが、古代ギリシャの哲学者プラトンの『饗宴』にみる種の守り神アフロディテが目指すのが、「一定の質を持つ子どもを生むことによる種の保存」というのは、その本質を問ううえで重要な内容だろう。「一定の質」を持つことが、人の種の保存に必要なという認識が、古代ギリシャにあったことがうかがえるが、それは、「障害」認識が醸成される普遍的な背景といえよう。「一定の質」を持ち得ない場合、それは「種」としての保存に値しないし劣等な存在、と地域 (国) や時代を問わず考えられた可能性も想定される。また、各時代の人々のあり方、すなわち「一定の質」のような考え方が、障害の認識を生み出しているとすれば、各時代の人々のあり方と障害の考え方やその実相の関係は、密接に結びつくものとして通時的にその時代特性および変化を追う必要がある。これは第二の視点とリンクする。

第四に、広い視野である。第三との関わりでいえば、障害は、身心機能の損傷によるもの (impairment) と社会・文化的に構築されたもの (disability) という二面性を持つと考えられるが、前者に対する医学史的な見方とともに、後者に対する政治社会史・文化史的な見方も踏まえ、障害を捉える必要があり、領域横断的な分析を方法論の主要な柱とした。

4. 研究成果

(1) 『障害史研究』の発行

論文、研究ノート、資料(史料)の紹介・翻刻、データベース、書評、研究活動報告など、本研究の目的に即した成果全般を載せ、1～6号(2020年3月～2024年3月。このうち、1～5号は通常号、6号は障害史関連データ集。いずれもオープンアクセス有)を刊行した。また、別冊として障害史研究会編『障害史へのアプローチ』(「障害の歴史性に関する学際統合研究 - 比較史的な日本観察 -」〔JSPS・JP19H00540、基盤研究A〕成果報告書)、2024年3月。オープンアクセス無)も刊行した。

(2) 『障害史へのアプローチ』

上記のうち、『障害史へのアプローチ』は次のような内容である。内容は二つからなる。すなわち、1編は、いわゆる障害の認識が資本制導入を介して人のあり方が生産性の問題として捉えられるようになった近代に成立すると考えられることを踏まえ、前近代(古代～近世)で障害に相当する事象がどのように認識されていたのか(第1、3、5章)、またそれに関連するいかなる表象が展開していたのか(第2、4、6、7章)かかる問題を考察する論文で構成した。2編は、障害者の生活と社会・国家との関係という観点より、病・身体を含めた命(第8、9、12章)の問題から、地域・学校を含めた生活・優生問題(第10、13～15章)、さらに生存の極限ともいえる戦災・傷病(第11、16章)に至るまで、社会的な存在としての障害者の実像をあぶり出す論文を載せる。これらにより、障害の認識や実態の究明をめぐる広角な視野と通史的な観点による様々な障害史へのアプローチについての成果をあげた。

(3) 障害史関連データ集

上記のうち、データ集は次のような内容である。すなわち、本プロジェクトでは科研メンバーの専門領域に応じ、前近代を対象にした史料データ編集、また障害概念が未成立と考えられる前近代から近現代にかけての広い視角からの研究文献採録を行ってきた。その成果の一端を、〔A〕史料目録データおよび〔B〕研究文献データとして、『障害史研究』6号に掲載した。主な内容は次の通りである。史料目録としては、「中国仏教説話(六朝隋唐期)の疾病(障害)関係史料目録」、「古代日本仏教説話の疾病(障害)関係史料目録」、「古典日本文学関係データ」、「近世障害史料目録」、また、研究文献目録としては、「日本古代・中世疾病 疾病観論文目録」、「日本近世・近代障害関連研究文献目録」、「欧米における 前近代障害史(Premodern Disability History) 研究関連の文献目録」、「障害学関連欧文文献案内」である。

なお、『障害史研究』には、「障害関連のデータ集〔1〕:「耳囊」記事からの採録」(1号)、「障害史関連の博物館、史料館、美術館等の紹介: 欧米地域を中心として」(2号)、「校訂版『鞠洲医事文稿』三編」(2号)、「近世障害者史研究の成果と課題: 生瀬克己の研究を事例に」(3号)、「生瀬克己『近世障害者関係史料集成』の編纂と障害史史料」(3号)、「森明夫「近世日本史料『続編孝義録料』にみる啞者: 近世日本の農村社会にみる聾啞表象」(4号)などの、障害史データにかかわる論考も掲載した。

(4) 関連成果

本プロジェクトの実施期間は新型コロナウイルスの感染・拡大時期と重なっており、障害と関連する感染症が、歴史的にどのような社会的意味を持ち、またいかに対応しようとしてきたのか、という成果が、とくに医学史、宗教史、美術史などを専門とするメンバーにより出された。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計142件（うち査読付論文 32件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 47件）

1. 著者名 有坂道子	4. 巻 別冊（障害史へのアプローチ）
2. 論文標題 蘭学受容期における身体と病	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 109～119
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大島明秀	4. 巻 別冊（障害史へのアプローチ）
2. 論文標題 近世日本における異形 「一眼国人」を中心に	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 51～60
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 クウィーラ, ダーヴィト = ドミニク (David Dominik CHWILA)	4. 巻 6
2. 論文標題 欧米における 前近代障害史 (Premodern Disability History) 研究関連の文献目録	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 233～271
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 小林丈広	4. 巻 別冊（障害史へのアプローチ）
2. 論文標題 戊辰戦争被災者の実情とその救済をめぐって	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 135～142
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小山聡子	4. 巻 別冊（障害史へのアプローチ）
2. 論文標題 古代・中世における鬼子と怪異	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 27～36
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小山聡子・藤本誠・細井浩志	4. 巻 6
2. 論文標題 日本古代・中世疾病 疾病観論文目録	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 167～190
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 末森明夫	4. 巻 別冊（障害史へのアプローチ）
2. 論文標題 江戸時代後期から昭和時代初期までの期間にみる聾家族の遷移 聾家族形態にみる聾遺伝子と聾模倣子の交差	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 121～133
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末森明夫	4. 巻 65(2)
2. 論文標題 近世日本手指符牒【目出度い】と現代日本手話【おめでとう】の間にみる通時音韻論的变化	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 ろう教育科学	6. 最初と最後の頁 59～61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高久彩	4. 巻 別冊（障害へのアプローチ）
2. 論文標題 福羽美静（1831～1907年）の身体の語り方・語られ方 記憶が自伝・伝記になるまで	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 143～155
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高野信治	4. 巻 255
2. 論文標題 障害史研究の可能性	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 歴史科学	6. 最初と最後の頁 1～13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高野信治	4. 巻 5
2. 論文標題 障害史研究をめぐる覚書 - 通史・総合史・生活史 -	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 55～74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 高野信治	4. 巻 別冊（障害史へのアプローチ）
2. 論文標題 人のあり方を問う 障害者 - 狂言と比較した心学道話 -	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 85～95
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高野信治	4. 巻 6
2. 論文標題 日本近世・近代障害関連研究文献目録	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 191～231
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高野信治	4. 巻 117
2. 論文標題 知行論からのささやかな展望	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 鴨東通信	6. 最初と最後の頁 14～15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤利行	4. 巻 5
2. 論文標題 近代学校衛生と保養思想 - 休養から鍛錬への軌跡 -	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 35～54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤利行	4. 巻 別冊 (障害史へのアプローチ)
2. 論文標題 近代学校衛生と優生思想	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 157～173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村治	4. 巻 27(2)
2. 論文標題 精神疾患を有する患者の生活支援と治療の場としての地域	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 精神医学史研究	6. 最初と最後の頁 64～72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村治	4. 巻 別冊 (障害史へのアプローチ)
2. 論文標題 地域と精神障害者	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 175～184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 東昇	4. 巻 別冊 (障害史へのアプローチ)
2. 論文標題 近世孝子褒賞史料・刑罰記録にみる障害表現 - 乱心・不平気・気分不揃 -	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 61～71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 東昇	4. 巻 6
2. 論文標題 近世障害史料目録	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 45～165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 平田勝政	4. 巻 22(1)
2. 論文標題 国民優生法と障害者の人権	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 鎮西学院大学現代社会学部紀要	6. 最初と最後の頁 37～44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 平田勝政	4. 巻 別冊 (障害史へのアプローチ)
2. 論文標題 日本の優生学と障害者の人権 知的障害を中心に	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 185～200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 72
2. 論文標題 大塩正路『張弛軒雜録』－真壁 (現茨城県)、栗橋 (現埼玉県) の文学者雜記	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 1～9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 9
2. 論文標題 空海 (弘法大師) と平賀源内	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 38～44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 別冊（障害史へのアプローチ）
2. 論文標題 桜井忠温の二つの戦後 - 傷痍軍人として生きる -	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 201 ~ 207
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 6
2. 論文標題 古典日本文学関係データ	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 37 ~ 43
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 藤本誠	4. 巻 5
2. 論文標題 摂関院政期における疾病（障害）表現の基礎的考察 四肢の疾病・盲・皮膚疾患を中心として	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 1 ~ 22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 藤本誠	4. 巻 別冊（障害史へのアプローチ）
2. 論文標題 日本古代の疾病（障害）表現の特質 仏教関係史料を手がかりとして	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 1 ~ 16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 藤本誠	4. 巻 6
2. 論文標題 中国仏教説話（六朝隋唐期）の疾病（障害）関係史料目録	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 1～14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 藤本誠	4. 巻 6
2. 論文標題 古代日本仏教説話の疾病（障害）関係史料目録	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 15～36
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 細井浩志	4. 巻 315
2. 論文標題 法師陰陽師の実態とその歴史的性格	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 史学研究	6. 最初と最後の頁 14～38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 細井浩志	4. 巻 877
2. 論文標題 書評：関根淳著『日本古代史書研究』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 83～87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山下麻衣	4. 巻 58(1)
2. 論文標題 戦後復興期・高度経済成長期における付添婦の存続理由に関する研究-神奈川県を事例として	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 経営史学	6. 最初と最後の頁 27～51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田巖子	4. 巻 別冊 (障害史へのアプローチ)
2. 論文標題 「生命の弁別」再考 「ヒトでないもの」をめぐって	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 99～107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本聡美	4. 巻 別冊 (障害史へのアプローチ)
2. 論文標題 中世絵巻における障害の図像	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 37～49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本聡美	4. 巻 68
2. 論文標題 愛執と闘争の図像 中世文学と仏教説話画 (シンポジウム 中世文学と絵画)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 中世文学	6. 最初と最後の頁 14～23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本聡美・高橋愛子	4. 巻 6
2. 論文標題 障害学関連欧文文献案内	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 273～274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉田洋一	4. 巻 別冊 (障害史へのアプローチ)
2. 論文標題 『荘子』徳充符篇にみる儒学者の「障害(者)」観	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 73～83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大島明秀	4. 巻 15
2. 論文標題 熊本博物館蔵前原健太郎医書コレクション目録	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 熊本県立大学大学院文学研究科論集	6. 最初と最後の頁 23～31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小林丈広・秋元せき・三枝暁子	4. 巻 135
2. 論文標題 京町家に生きる 秦家(京都市太子山町)の聞き取り調査から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 社会科学	6. 最初と最後の頁 43～63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小山聡子	4. 巻 47
2. 論文標題 中世前期の疫病治療と加持	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 仏教文学	6. 最初と最後の頁 57～67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小山聡子	4. 巻 40
2. 論文標題 日本古代・中世における障害児の処遇	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 上智大学キリスト教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 3～15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小山聡子	4. 巻 155
2. 論文標題 見えないモノの文化	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 季刊iichiko	6. 最初と最後の頁 12～17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小山聡子	4. 巻 68(3)
2. 論文標題 (書評) 田畑正久・桑原正彦・富士川義之・松田正典・佐々木秀美・栗田正弘・土屋久著『富士川游の世界 医学史, 医療倫理, そして宗教』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本医史学雑誌	6. 最初と最後の頁 291～293
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小山聡子	4. 巻 2
2. 論文標題 (書評) 徳永誓子著『憑霊信仰と日本中世社会』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 文明動態学	6. 最初と最後の頁 165 ~ 167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 末森 明夫	4. 巻 4
2. 論文標題 近世日本史料『続編孝義録料』にみる唾者 : 近世日本の農村社会にみる聾啞表象	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 63 ~ 71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/6779694	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末森明夫	4. 巻 64(2)
2. 論文標題 日本聾啞史学史的構築 : 複眼的時代区分論に基づく日本聾啞教育史の史学史的接近	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ろう教育科学	6. 最初と最後の頁 55 ~ 58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末森明夫	4. 巻 72
2. 論文標題 (書評) 『「悔」なれど「忍」 : 吉田松陰のろうあ弟・杉敏三郎考』 : 聾啞史・聾啞教育史における近世日本唾教育の連関布置	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 聾啞史会報	6. 最初と最後の頁 32 ~ 39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末森 明夫	4. 巻 4
2. 論文標題 (書評)ローズマリー・マルケイ著・鈴木光雄訳(2021)『聾啞の天才画家 エル・ムード』文芸社： 中近世西欧と近世日本にみる聾啞教育の類比に関する提言	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 73～80
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/6779695	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末森明夫・樋原裕二	4. 巻 73
2. 論文標題 三河国幡豆郡高落村百姓すへ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 聾啞史会報	6. 最初と最後の頁 27～29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末森明夫・樋原裕二	4. 巻 73
2. 論文標題 三河国額田郡下明大寺村百姓そめ・志な	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 聾啞史会報	6. 最初と最後の頁 30～31
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高野 信治	4. 巻 4
2. 論文標題 近世の伝聞記録「耳囊」にみる 障害 : 素材と論点	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 31～47
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/6779686	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤 利行	4. 巻 4
2. 論文標題 近代日本における「保養」概念の形成と展開	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 49～62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/6779687	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤利行	4. 巻 65(3)
2. 論文標題 学校保健安全法にもとづく安全管理と安全教育の展開	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 保険の科学	6. 最初と最後の頁 148～152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石原研治・鈴木美香・寺門遼香・福田珠巳・瀧澤利行	4. 巻 72
2. 論文標題 アレルギー疾患の理解を深めるための事例の作成と教職大学院での展開	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 茨城大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 251～258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村治	4. 巻 25
2. 論文標題 岩倉を精神病患者の聖地にしたもの	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都府立大学文化遺産叢書	6. 最初と最後の頁 127～152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村治	4. 巻 26
2. 論文標題 岩倉における精神病患者家族的介護の形態	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 精神医学史研究	6. 最初と最後の頁 67～75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村治	4. 巻 4
2. 論文標題 地域と障害者	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 1～12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/6779680	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 東 昇	4. 巻 74
2. 論文標題 近世後期庄屋家妻の病・体認識 : 天草郡高浜村上田さほの養生記録	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都府立大学学術報告. 人文	6. 最初と最後の頁 73～94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 平田勝政	4. 巻 21(1)
2. 論文標題 1930年代の北海道・東北地方における「らい予防デー」に関する研究 北部保養院と中條資俊を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 鎮西学院大学現代社会学部紀要	6. 最初と最後の頁 89～96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 72
2. 論文標題 大塩正路『張弛軒雜録』－真壁（現茨城県）、栗橋（現埼玉県）の文学者雜記	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 1～9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 米谷隆史・福田安典	4. 巻 144
2. 論文標題 会津俳人 巨石・如髪編『謡百番句合』について	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 連歌俳諧研究	6. 最初と最後の頁 56～64
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤本誠	4. 巻 47
2. 論文標題 『日本靈異記』の成立 日中の仏教説話集の編纂意識を手がかりとして	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 仏教文学	6. 最初と最後の頁 41～52
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤本誠	4. 巻 91(3)
2. 論文標題 古代地方寺院の性格と機能 地方豪族と住僧の検討を中心として	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 史学	6. 最初と最後の頁 1～36
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤本誠	4. 巻 62
2. 論文標題 『東大寺諷誦文稿』における孝子伝的記述の特質 抹消（擦消）の意味と史的背景をめぐって	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 古代文学	6. 最初と最後の頁 83～99
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤本誠	4. 巻 57
2. 論文標題 (書評) 小林崇仁著『日本古代の仏教者と山林修行』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 説話文学研究	6. 最初と最後の頁 246～249
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 細井浩志	4. 巻 278
2. 論文標題 陰陽師による天文道・暦道の兼帯について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東アジア遊学278（呪術と学術の東アジア 陰陽道研究の継承と展望）	6. 最初と最後の頁 111～126
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山下 麻衣	4. 巻 4
2. 論文標題 戦傷病者戦没者遺族等援護法と更生医療：戦後復興期の京都府を事例として	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 13～30
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15017/6779681	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山田 巖子	4. 巻 別冊
2. 論文標題 津軽の冬の暮らしと火の民俗（日本民俗建築学会誌上シンポジウム 津軽地方における建物の諸相 津軽の冬の住まいを考えるー）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 民俗建築	6. 最初と最後の頁 9～12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本 聡美	4. 巻 68
2. 論文標題 吉備真備の才藝と本朝仏神の感応 「吉備大臣入唐絵巻」の構造	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 早稲田大学大学院文学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 774～756
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山本 聡美	4. 巻 438
2. 論文標題 聖衆来迎寺本「六道絵」と如法経供養の儀礼空間 閻魔堂建築から「閻魔王庁幅」への中世的展開	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 美術研究	6. 最初と最後の頁 81～100
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 洋一	4. 巻 9
2. 論文標題 『中津城沿革志』について	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 歴史と人物（中津市歴史博物館分館）	6. 最初と最後の頁 42～59
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 小林丈広	4. 巻 8
2. 論文標題 近代都市と「衛生自治」 「貧民部落」をめぐって	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市史研究	6. 最初と最後の頁 65～77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林丈広	4. 巻 351
2. 論文標題 日本における近代的防疫行政の形成	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 30～31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林丈広	4. 巻 412
2. 論文標題 コロナ禍の日々 二〇二〇年八月頃までを振り返って	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地方史研究	6. 最初と最後の頁 48～53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小山聡子	4. 巻 49-5
2. 論文標題 中世前期の瘧病治療 - 病原は鬼か狐か	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 399～410
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小山聡子	4. 巻 42
2. 論文標題 中世における神の調伏・疫神の調伏	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本史学集録	6. 最初と最後の頁 60～64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小山聡子	4. 巻 1036
2. 論文標題 日本中世の幽霊と死体	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 早稲田文学	6. 最初と最後の頁 183～191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木則子	4. 巻 1011
2. 論文標題 安政五年コレラ流行をめぐる<疫病経験> - 駿州大宮町栴屋弥兵衛の日記から -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 12～25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高野信治	4. 巻 3
2. 論文標題 近世日本の社会観と 障害 認識 : 石門心学をめぐる	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 1～16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/4772322	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高野信治	4. 巻 65
2. 論文標題 石門心学にみる 障害 の比喩化 - 狂言台本の題材化との比較 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 九州文化史研究所紀要	6. 最初と最後の頁 1 ~ 35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村治	4. 巻 25 (1-2合併号)
2. 論文標題 呉秀三と岩倉にいた貴顕	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 精神医学史研究	6. 最初と最後の頁 7 ~ 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 東 昇	4. 巻 3
2. 論文標題 生瀬克己『近世障害者関係史料集成』の編纂と障害史史料	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 31 ~ 39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/4772324	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 平田勝政	4. 巻 20-1
2. 論文標題 1930年代の台湾におけるハンセン病問題に関する研究 - 「らい予防デー」の成立・展開過程の検討を中心に -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 鎮西学院大学現代社会学部紀要	6. 最初と最後の頁 73 ~ 88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 18
2. 論文標題 門・風の倫理	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本文学研究ジャーナル	6. 最初と最後の頁 52～62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 18・19
2. 論文標題 『しのだづま』小考	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 上方文藝研究	6. 最初と最後の頁 23～31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤本誠	4. 巻 854
2. 論文標題 日本古代の在路飢病者と古代仏教の「救済」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 85～87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 細井浩志、中村琢	4. 巻 136
2. 論文標題 『曆林問答集』の新写本について 古谷義昭氏所蔵『曆林問答集』の紹介と検討 1-21頁 (日本道教学会)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東方宗教	6. 最初と最後の頁 1～21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山下麻衣	4. 巻 17
2. 論文標題 看護の歴史とジェンダー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ジェンダー史学	6. 最初と最後の頁 65～69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本聡美	4. 巻 118-4
2. 論文標題 愛執と発心：朽ちてゆく死体へのまなざし	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 学燈	6. 最初と最後の頁 10～13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本聡美	4. 巻 95-2
2. 論文標題 善知識としての病-古代日本における仏教美術と疫病	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 121～144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本聡美	4. 巻 53-4
2. 論文標題 「鳥獣戯画」乙巻の主題と世界観：動物たちの悪心と報恩	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 123～131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大島明秀	4. 巻 2
2. 論文標題 校訂版『鞆洲医事文稿』三編	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 146～162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 クウィーラ、ダーヴィト=ドミニク	4. 巻 2
2. 論文標題 江戸中後期における 障害児 ・ 奇形児 の捨て子や子殺しに対する認識	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 15～39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 クウィーラ、ダーヴィト=ドミニク	4. 巻 2
2. 論文標題 障害史関連の博物館、史料館、美術館等の紹介 - 欧米地域を中心として -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 111～126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 末森明夫	4. 巻 2
2. 論文標題 中世絵画史料《遊行上人縁起絵》《融通念仏縁起絵》諸本にみる不具および犬神人の描写に関する予備考察	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 41～62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 末森明夫	4. 巻 2
2. 論文標題 上古・中古日本と古代中国の唾語彙位相における「唾不能語」の定位	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 99～110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木則子	4. 巻 919
2. 論文標題 幕末コレラ史料にみる <疫病経験> の歴史	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史地理学教育	6. 最初と最後の頁 30～35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木則子	4. 巻 36
2. 論文標題 安政五年コレラ流行とおどけ長唄『しに行 三日転愛哀死々』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人間文化総合科学研究科年報	6. 最初と最後の頁 49～61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高野信治	4. 巻 842
2. 論文標題 近世日本の国家・社会と 障害者	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 45～56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高野信治	4. 巻 2
2. 論文標題 武家夫婦の日記と夫婦記録 ―広島藩儒者頼春水・静子の 障害 認識を考える―	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 63～77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤利行	4. 巻 62(1)
2. 論文標題 学校保健の原理・歴史研究総論 ―原理・歴史研究は現実の何に役立つか―	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学校保健研究	6. 最初と最後の頁 63～67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤利行	4. 巻 62(3)
2. 論文標題 学校保健における原理・思想研究の意義と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学校保健研究	6. 最初と最後の頁 205～211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤利行	4. 巻 令和2年度版
2. 論文標題 日本学校保健会100年の軌跡とその意義	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学校保健の動向	6. 最初と最後の頁 21～28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村治	4. 巻 24(2)
2. 論文標題 岩倉大雲寺	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 精神医学史研究	6. 最初と最後の頁 170～174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平田勝政	4. 巻 19(1)
2. 論文標題 1920年代の朝鮮におけるハンセン病問題に関する研究 - 志賀潔における治療主義と隔離主義の相克 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 長崎ウエスレヤン大学現代社会学部紀要	6. 最初と最後の頁 73～86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 17
2. 論文標題 名医伝と數医譚との間	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際日本学	6. 最初と最後の頁 5～28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 17
2. 論文標題 井上蝶庵『連歌提要』と上田秋成	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 上方文藝研究	6. 最初と最後の頁 53～62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 60
2. 論文標題 伊達家の歌会（吉村・村倫・重村の和歌）-日本文学科所蔵資料から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国文目白	6. 最初と最後の頁 81～88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 70(3)
2. 論文標題 高校に古典は本当に必要かー高校生との対話を通じてー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本文学	6. 最初と最後の頁 25～34
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典他	4. 巻 27
2. 論文標題 日尾荆山判『七拾六番歌合』翻刻と解題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本女子大学大学院文学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 1～12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 2
2. 論文標題 「障害史研究（Disability History Studies）のための日本古典文学研究序説」合評会報告	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 127～129
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 藤本誠	4. 巻 18
2. 論文標題 『東大寺諷誦文稿』の再検討 病者（障害者）・路辺遺棄者・貧窮者等を中心として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本仏教総合研究	6. 最初と最後の頁 39～68
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸本由美子	4. 巻 70
2. 論文標題 書評：高塩博著『江戸幕府の「敵」と人足寄場 社会復帰をめざす刑事政策』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 法制史研究	6. 最初と最後の頁 11～16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mai YAMASHITA(山下麻衣)	4. 巻 2021
2. 論文標題 Disabled people and the labor market in the 1950s: the Japanese experience	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Asian Studies, published online by Cambridge University Press	6. 最初と最後の頁 1～13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1017/S1479591421000048	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山下麻衣	4. 巻 72(1)
2. 論文標題 明治期における急性感染症患者の看護：東京府（市）立駒込病院を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 同志社法学	6. 最初と最後の頁 65～86
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山下麻衣・藤原哲也・今城徹	4. 巻 2
2. 論文標題 矜持と労苦 傷痕軍人とその妻の戦後経験	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 79～97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山下麻衣	4. 巻 86 (2)
2. 論文標題 書評 後藤基行著『日本の精神科入院の歴史構造 : 社会防衛・治療・社会福祉』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 社会経済史学 = Socio-economic history	6. 最初と最後の頁 170～172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本聡美 (馬如慧翻訳)	4. 巻 30
2. 論文標題 試論《伴大納言絵巻》中経説的運用 伴善男宅邸中の破戒主題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本学研究	6. 最初と最後の頁 193～211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 山本聡美 (フランソワ=カール・グシュヴェント翻訳)	4. 巻 2020-1
2. 論文標題 De la Voie des esprits demoniaques a la Voie des titans: Reconsideration sur les peintures talismaniques(鬼神道から阿修羅道へ 辟邪絵再考)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PERSPECTIVE	6. 最初と最後の頁 167～188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 山本聡美	4. 巻 66
2. 論文標題 疫病と美術 日本中世絵画に描かれた疫鬼	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 早稲田大学大学院 文学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 325 ~ 335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本聡美	4. 巻 2
2. 論文標題 発心の図像 中世仏教説話画に描かれた病と障害	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 1 ~ 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本聡美	4. 巻 772
2. 論文標題 「鳥獣戯画」乙巻の主題と世界観 動物たちの悪心と報恩	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 123 ~ 131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田洋一	4. 巻
2. 論文標題 横井家の日記帳について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 史料と人物 (中津市歴史博物館)	6. 最初と最後の頁 31 ~ 58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 1
2. 論文標題 障害史研究 (Disability History Studies) のための日本古典文学研究序説	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 1~14頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 16
2. 論文標題 上方論争史を考えるために 『葉選』 『非葉選』 を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上方文芸研究	6. 最初と最後の頁 52~63頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田安典	4. 巻 17
2. 論文標題 名医伝と數医譚との間	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際日本学	6. 最初と最後の頁 5~28頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤利行	4. 巻 1
2. 論文標題 日本における養生論の文化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 15~34頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤利行	4. 巻 83 - 6
2. 論文標題 日本における学校保健の変遷と今後の展望	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 公衆衛生	6. 最初と最後の頁 416 ~ 421頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤利行	4. 巻 22 - 2
2. 論文標題 研究デザインと研究方法 在宅ケアの研究に取り組むための基本的姿勢	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本在宅ケア学会誌	6. 最初と最後の頁 42 ~ 49頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤利行	4. 巻 83 - 3
2. 論文標題 学校保健安全活動における実践倫理的課題 学習権保障と健康権保障の関係から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 公衆衛生	6. 最初と最後の頁 190 ~ 195頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧澤利行	4. 巻 60 - 6
2. 論文標題 知識基盤社会を生き抜く保健の知識とは何か	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学校保健研究	6. 最初と最後の頁 317 ~ 320頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高野信治	4. 巻 1
2. 論文標題 障害者 とその行方：地方（じかた）記録による実態研究の試み	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 35～50頁
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 高野信治	4. 巻 1
2. 論文標題 障害関連のデータ集〔1〕：「耳囊」記事からの採録	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 障害史研究	6. 最初と最後の頁 81～106頁
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山下麻衣	4. 巻 71 - 4
2. 論文標題 1960年代日本におけるチームナースング理論の展開と影響	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 同志社商学	6. 最初と最後の頁 73～93頁
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 藤本誠	4. 巻 29
2. 論文標題 『東大寺調誦文稿』『釈迦本縁』『慈悲徳』についての基礎的考察	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 水門	6. 最初と最後の頁 113～125頁
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 東昇	4. 巻 71
2. 論文標題 近世後期天草郡高浜村における村民褒賞と文書群の形成	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 京都府立大学学術報告(人文)	6. 最初と最後の頁 219～239頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 丸本由美子・雨宮靖樹・清水大輔	4. 巻 61-1
2. 論文標題 記録・再犯防止推進に係る機関連携推進会議	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 金沢法学	6. 最初と最後の頁 171～208頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小林丈広	4. 巻
2. 論文標題 猪飼敬所書簡から見た谷三山研究の可能性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 谷三山、師の師たる人	6. 最初と最後の頁 171～193頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本聡美	4. 巻 65
2. 論文標題 フリーア美術館所蔵「地藏菩薩靈験記」第一話の主題 女性の罪業としての嫉妬と諍い	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 早稲田大学大学院文学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 347～359頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本聡美	4. 巻 430
2. 論文標題 「妙法蓮華経变相図」(静嘉堂文庫蔵)にみる南宋時代寧波の信仰と社会	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 美術研究	6. 最初と最後の頁 49～58頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村治	4. 巻 98
2. 論文標題 南方熊楠・熊弥親子と岩倉	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本病跡学雑誌	6. 最初と最後の頁 13～21頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計67件(うち招待講演 29件/うち国際学会 12件)

1. 発表者名 小山聡子
2. 発表標題 鬼子の誕生と怪異 日本古代を中心として
3. 学会等名 日本医史学会第124回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小山聡子
2. 発表標題 中世における狐憑きとその治療
3. 学会等名 国際日本文化研究センター共同研究「ソリッドな 無常 /フラジャイルな 無常」
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 鈴木則子
2. 発表標題 幕末の日記史料にみる「家」と看護
3. 学会等名 比較家族史学会 2023年度春季大会 シンポジウム『家族と病い』
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 鈴木則子
2. 発表標題 幕末地域医療と座頭鍼医
3. 学会等名 日本医史学会 3月例会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中村治
2. 発表標題 医師や役人から見た歴史と地域住民から見た歴史
3. 学会等名 第26回精神医学史学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Makoto Fujimoto
2. 発表標題 Temples and Dō in Ancient Japan: The Roles of Powerful Local Families and Village Elites in Local Buddhist Facilities
3. 学会等名 Center for Culture, Society and Religion, Workshop "Thinking Through Minshō Bukkyō: Popular Buddhism and the Study of Premodern Japan" (Princeton University) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 藤本誠
2. 発表標題 古代地方寺院をめぐる諸問題
3. 学会等名 東国古代遺跡研究会第13回研究大会「東国の地域交流と平安仏教 南東北と北関東の里の寺、山の寺」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Makoto Fujimoto
2. 発表標題 Statues and Sermons in the Local Community: Media Used by Buddhist Priests from the Capital in Ancient Japan
3. 学会等名 International Conference "Transcending the Tangibility and Intangibility: Religion and Media in Pre-Modern East and West Eurasia" (Tokyo Metropolitan University, Minami-Osawa Campus) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 藤本誠
2. 発表標題 古代地方寺院の特質
3. 学会等名 2023年度第2回早稲田古代史研究会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 中世戒律復興と東征伝絵巻
3. 学会等名 唐招提寺開山忌舎利会記念講演会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 造形語彙集としての『釈氏源流』 日本中世絵巻との接点を探る
3. 学会等名 説話文学学会大会（六十周年記念大会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 監察するほとけ 中世間魔信仰の嚆矢としての鳥羽炎魔天堂
3. 学会等名 日本仏教総合研究学会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 Ruins as The Place of Awakening
3. 学会等名 JSAA-ICNTJ（豪州日本研究学会）2023（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 発心の場としての廃墟 三車火宅の図像学
3. 学会等名 佛教史學會（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小山聡子
2. 発表標題 日本古代・中世における障害児の処遇
3. 学会等名 上智大学キリスト教文化研究所第49回連続講演会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高野信治
2. 発表標題 障害史研究の可能性
3. 学会等名 第38回 歴史学入門講座（同実行委員会）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高野信治
2. 発表標題 鍋島猫騒動 - 御家交代の物語化と怪異性 -
3. 学会等名 第217回佐賀城御丸歴史館ゼミナール（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 瀧澤利行、熊谷紀良、榎本朝美、渡部芽生、山崎美貴子
2. 発表標題 「東京都内区市町村ボランティア・市民活動センター等実状調査」における市民学習支援活動の経年変化
3. 学会等名 第28回日本福祉教育・ボランティア学習学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中村治
2. 発表標題 患者の受け入れに対する岩倉の人の対応
3. 学会等名 第25回精神医学史学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中村治
2. 発表標題 地域と精神医療
3. 学会等名 北九州市立大学地域創生学群社会福祉学研究室（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 福田安典
2. 発表標題 会津俳人 巨石・如髮編『謡百番句合』について
3. 学会等名 俳文学会第七十三回全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 福田安典
2. 発表標題 大阪大学部の文庫を縦覧横覧してみた
3. 学会等名 大阪大学国語国文学会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 藤本誠
2. 発表標題 古代日本の地方寺院の性格と機能 地方豪族と住僧の検討を中心として
3. 学会等名 ReMo研 日本中世寺社班研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 藤本誠
2. 発表標題 古代日本の「孝子」受容と地域社会の法会 『東大寺諷誦文稿』を中心として
3. 学会等名 古代文学会2022年度夏期セミナー（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 藤本誠
2. 発表標題 日本古代における疾病・障害表現の基礎的考察 日中仏教説話集の比較を手がかりとして
3. 学会等名 「障害の歴史性に関する学際統合研究 比較史的な日本観察」 科研基盤研究(A)第11回研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 細井浩志
2. 発表標題 日本古代の陰陽師の実像と変遷
3. 学会等名 日本宗教学81回学術大会（「陰陽師の虚像と実像」）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 細井浩志
2. 発表標題 平安時代の「街の魔術師」 法師陰陽師について
3. 学会等名 広島史学研究会2022年度大会（シンポジウム「古代社会における魔術と宗教」）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山下麻衣
2. 発表標題 援護法と更生医療
3. 学会等名 「障害の歴史性に関する学際統合研究 比較史的な日本観察」 科研基盤研究（A）第9回研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 修羅と鎮魂の六道語り
3. 学会等名 海の見える杜美術館「平家物語絵」展記念講演会「描かれた平家物語」（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 愛執と闘争の図像 中世文学と仏教説話画
3. 学会等名 中世文学会春季大会 シンポジウム「中世文学と絵画」（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 Buddhism and Court Art: The Sacred and Secular in Japanese Medieval Arts
3. 学会等名 5TH SWISS CONGRESS FOR ART HISTORY 発表年(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 善知識としての災厄 仏教美術と疫病
3. 学会等名 朝鮮大学校 災難人文学研究事業団 《東アジアの災難に関する研究ネットワーク構築事業/国内外優秀学者特別講演》(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 軍記と女性 建礼門院六道語りと中世合戦図
3. 学会等名 総合女性史学会2022年度大会 危機・ジェンダー・表象の歴史学 描く女/描かれる女 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 図像の生命誌 意味と形のあわい
3. 学会等名 名古屋大学人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター「宗教遺産をめぐる真正性 宗教遺産テキスト学の発展的展開」(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小山聡子
2. 発表標題 中世前期の疫病治療と加持
3. 学会等名 仏教文学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木則子
2. 発表標題 江戸時代の疫病史料にみる女性
3. 学会等名 総合女性史学会2021年度大会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鈴木則子
2. 発表標題 安政六年コレラ流行と摺物
3. 学会等名 第26回 国際浮世絵学会 秋季大会(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木則子
2. 発表標題 江戸の流行り病と人々の暮らし - 幕末の疱瘡と種痘導入をめぐって -
3. 学会等名 第122回日本医史学会総会・学術大会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高野信治
2. 発表標題 近世日本における 障害 認識の形成と社会観
3. 学会等名 東北大学東北アジアセンター25周年記念国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 瀧澤利行
2. 発表標題 日本学校保健学会における研究の原点とは何か 実践のための理論と理論を導く実践
3. 学会等名 公益社団法人日本学校保健学会第67回学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村治
2. 発表標題 岩倉における精神病患者家族的看護の意味すること
3. 学会等名 第24回精神医学史学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 細井浩志
2. 発表標題 古代の疫病と「日本」の誕生
3. 学会等名 日本時間学会第13回大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山下麻衣
2. 発表標題 第二次世界大戦後における付添婦の存続理由に関する研究
3. 学会等名 経営史学会第57回全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田麗子
2. 発表標題 旧小川原湖民俗博物館の映像資料
3. 学会等名 日本民俗学会第73回年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 愛執の図像学 中世説話画に描かれた愛と発心
3. 学会等名 二松学舎大学人文学会第123回大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小林丈広
2. 発表標題 近代都市と「衛生自治」 「貧民部落」をめぐる
3. 学会等名 都市史学会大会シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木則子
2. 発表標題 江戸時代のコレラをめぐる生活史
3. 学会等名 第十回国際日本文化研究センター共同研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木則子
2. 発表標題 駿河国富士郡『袖日記』にみる<疫病経験> 安政五年のコレラ流行をめくって
3. 学会等名 奈良歴史研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小山聡子
2. 発表標題 座談会 「災異と疫病と呪術」小山聡子×町泉寿郎×牧角悦子
3. 学会等名 二松学会大学人文学会第121回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小山聡子
2. 発表標題 古代・中世の病氣治療 疫病の治療を中心として
3. 学会等名 日本史談話会2020年度大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤本誠
2. 発表標題 『日本靈異記』の成立と東アジアの仏教
3. 学会等名 仏教文学会12月例会シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings
3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 鬼神道から阿修羅道へ 辟邪絵再考
3. 学会等名 早稲田大学美術史学会2019年度総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本聡美
2. 発表標題 五道説から六道説への転換 中世六道絵における阿修羅圖像の成立
3. 学会等名 PMJS(Premodern Japanese Studies Network) Conference, McGill University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀧澤利行
2. 発表標題 日本における養生論の文化と現代生活
3. 学会等名 第70回日本東洋医学会学術総会・養生シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀧澤利行
2. 発表標題 日本における高齢者介護の変遷とその課題
3. 学会等名 2019年度台湾醫學史學會（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀧澤利行
2. 発表標題 社会科学としての学校保健学
3. 学会等名 第66回日本学校保健学会学術大会・メインシンポジウム「融合学術領域としての学校保健学の可能性 多様な学問領域，理論と実践を串刺しする」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平田勝政
2. 発表標題 優生保護法下の障害者への優生手術に関する研究交流（2）
3. 学会等名 日本特別ニーズ教育学会第25回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高野信治
2. 発表標題 近世日本の国家・社会と 障害者
3. 学会等名 歴史科学協議会第53会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本誠
2. 発表標題 『東大寺諷誦文稿』の再検討 - 病者（障害者）・路辺遺棄者・貧窮者等を中心として-
3. 学会等名 日本仏教綜合研究学会第18回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 YAMASHITA Mai（山下麻衣）
2. 発表標題 History of the Acceptance of Team Nursing in Japan: The Impact of GHQ-led Nursing Reform
3. 学会等名 The 3rd Japanese-Croatian Inernational Conference " Technology Changes and Society"（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木則子
2. 発表標題 信濃国小諸白倉松軒信煥・加川隆礼兄弟の産科術(回生術)記録
3. 学会等名 第120回日本医史学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木則子
2. 発表標題 江戸時代の医療とジェンダー～「女医師」をめぐって
3. 学会等名 日本医史学会1月例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田安典
2. 発表標題 環境文学としての日本古典文学研究
3. 学会等名 第84回日本健康学会総会連携研究セミナー3（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村治
2. 発表標題 南方熊楠・熊弥親子と岩倉
3. 学会等名 第66回日本病跡学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村治
2. 発表標題 Guesthouses for mentally ill people in Iwakura and in Kanazawa, Japan
3. 学会等名 XXXVIth International Congress on Law and Mental Health（国際学会）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計39件

1. 著者名 鈴木則子	4. 発行年 2024年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 816
3. 書名 『緒方洪庵全集第三卷(中)』(担当箇所『虎狼痢治準』)	

1. 著者名 三成美保・小浜正子・鈴木則子編	4. 発行年 2024年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 278
3. 書名 『「ひと」とはだれか? 身体・セクシュアリティ・暴力』(ひとから問うジェンダーの世界史 第1巻)	

1. 著者名 高野信治	4. 発行年 2023年
2. 出版社 思文閣	5. 総ページ数 296
3. 書名 藩領社会と武士意識	

1. 著者名 山口みどり・鈴木則子他共著	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 論点・ジェンダー史学	

1. 著者名 藤野保	4. 発行年 2024年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 250
3. 書名 読みなおす日本史：徳川幕閣 - 武功派と官僚派の抗争 - (高野信治執筆「藤野保『徳川幕閣』を読む」)	

1. 著者名 近衛典子・福田安典・宮本祐規子共著	4. 発行年 2024年
2. 出版社 ペリかん社	5. 総ページ数 300
3. 書名 江戸の実用書 ペット・園芸・くらしの本	

1. 著者名 小峯和明編	4. 発行年 2023年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 552
3. 書名 日本と東アジアの 環境文学 (福田安典執筆「園芸書の文芸性－『花壇綱目』を中心に」)	

1. 著者名 佐々木虔一・笹生衛・菊地照夫編	4. 発行年 2023年
2. 出版社 八木書店	5. 総ページ数 538
3. 書名 古代の交通と神々の景観 港・坂・道 (藤本誠執筆「地方から都を往来する人びと 地方豪族層・運脚夫を中心として」)	

1. 著者名 上代文献を読む会編	4. 発行年 2024年
2. 出版社 和泉書院	5. 総ページ数 714
3. 書名 東大寺諷誦文稿注解（藤本誠執筆「『東大寺諷誦文稿』解説」）	

1. 著者名 国立歴史民俗博物館編（細井浩志執筆）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 小さ子社	5. 総ページ数 326
3. 書名 陰陽師とは何者かーうらない、まじない、こよみをつくる	

1. 著者名 山本聡美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 KADOKAWA	5. 総ページ数 395
3. 書名 増補カラー版 九相図をよむ 朽ちてゆく死体の美術史	

1. 著者名 梅沢恵、渡邊裕美子、陣野英則、山本聡美他	4. 発行年 2023年
2. 出版社 神奈川県立金沢文庫	5. 総ページ数 127
3. 書名 廃墟とイメージ 憧憬、復興、文化の生成の場としての廃墟 「発行年」 2023	

1. 著者名 小山 聡子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 208
3. 書名 鬼と日本人の歴史	

1. 著者名 安井真奈美、ローレンス・マルソー	4. 発行年 2023年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 336
3. 書名 想像する身体 上巻（鈴木則子担当「安政六年京都のコレラ流行と御千度」）	

1. 著者名 鈴木 則子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 254
3. 書名 近世感染症の生活史	

1. 著者名 高野 信治	4. 発行年 2022年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 272
3. 書名 神になった武士	

1. 著者名 諏訪敦、鎌田享、山本聡美、渡辺晋輔、鈴木理策、小池寿子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 美術出版社	5. 総ページ数 184
3. 書名 諏訪敦作品集「眼窩裏の火事」	

1. 著者名 吉村武彦・川尻秋生・松木武彦編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 KADOKAWA	5. 総ページ数 316
3. 書名 シリーズ 地域と古代日本 東国と信越（藤本誠担当「地方寺院と村堂」）	

1. 著者名 坂上康俊編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 高志書院（東京）	5. 総ページ数 367
3. 書名 古代中世の九州と交流（細井浩志担当「陰陽師賀茂保憲について 律令国家転換期の陰陽道」）	

1. 著者名 山田巖子・小池淳一補訂 佐々木達司編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 青森文芸出版	5. 総ページ数 251
3. 書名 あおもり俗信辞典	

1. 著者名 山田巖子・羽瀨一代・原克昭編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 大学生の俗信と『知識』に関する調査	5. 総ページ数 43
3. 書名 弘前大学俗信研究会	

1. 著者名 日本医史学会編（鈴木則子・瀧澤利行・福田安典など）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 836
3. 書名 医学史事典	

1. 著者名 奈良県立大学ユーラシア研究センター編、小林丈広他	4. 発行年 2022年
2. 出版社 京阪奈情報教育出版	5. 総ページ数 385
3. 書名 谷三山 師の師たる人（小林「猪飼敬所」）	

1. 著者名 福田千鶴、藤實久美子、高野信治他	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 488
3. 書名 近世日記の世界（高野「夫婦の日記」）	

1. 著者名 林淳、細井浩志他	4. 発行年 2021年
2. 出版社 名著出版	5. 総ページ数 600
3. 書名 新陰陽道叢書5巻特論（細井「古代における清明像の形成」）	

1. 著者名 木俣元一、近本謙介、山本聡美他	4. 発行年 2022年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 728
3. 書名 宗教遺産テキスト学の創成（山本「宗教遺産としての仏教説話画」）	

1. 著者名 小山 聡子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 288
3. 書名 もののけの日本史	

1. 著者名 小山聡子編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 思文閣出版	5. 総ページ数 279
3. 書名 前近代日本の病氣治療と呪術 小山聡子分担執筆「平安時代におけるモノノケの表象と治病」	

1. 著者名 渡部昭男他編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 三学書房	5. 総ページ数 282
3. 書名 糸賀一雄研究の新展開～ひとに生まれて人間となる～ 平田勝政分担執筆「糸賀一雄を学び、より深めるために～優生思想を超えて～」	

1. 著者名 松井忍・寺島徹、服部直子、福田安典	4. 発行年 2020年
2. 出版社 和泉書院	5. 総ページ数 705
3. 書名 伊予俳人 栗田樽堂全集	

1. 著者名 伊藤聡・佐藤文字編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 272
3. 書名 『日本宗教の信仰世界』 日本宗教史5 藤本誠分担執筆「古代の説法・法会と人々の信仰」	

1. 著者名 山本聡美	4. 発行年 2020年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 476
3. 書名 中世仏教絵画の画像誌 経説絵巻・六道絵・九相図	

1. 著者名 奈良女子大学生生活文化学研究会編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 敬文舎	5. 総ページ数 351
3. 書名 ジェンダーで問い直す暮らしと文化	

1. 著者名 勝又基、猿倉信彦、前田賢一、渡部泰明、福田安典、飯倉洋一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 文学通信	5. 総ページ数 217
3. 書名 古典は本当に必要なのか、否定論者と議論して本気で考えてみた。	

1. 著者名 松井忍、寺島徹、服部直子、福田安典	4. 発行年 2020年
2. 出版社 和泉書院	5. 総ページ数 705
3. 書名 伊予俳人 栗田樽堂全集	

1. 著者名 陳捷編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 439
3. 書名 医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界	

1. 著者名 有坂道子・橋爪節也・青木政幸・袴田舞・中村真菜美	4. 発行年 2019年
2. 出版社 藝華書院	5. 総ページ数 359
3. 書名 木村蒹葭堂全集 第2巻 本草・博物学（辰馬考古資料館所蔵）	

1. 著者名 丸井 英二編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 弘文堂	5. 総ページ数 200
3. 書名 わかる公衆衛生学・たのしい公衆衛生学	

1. 著者名 韓国・谷城複合文化財保存会編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 韓国・谷城複合文化財保存会	5. 総ページ数 230
3. 書名 韓国・中国・日本 トッケビ（鬼）イメージからのアプローチ 国際学術討論会	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山本 聡美 (YAMAMOTO Satomi) (00366999)	早稲田大学・文学学術院・教授 (32689)	中世・美術史
研究分担者	東 昇 (HIGASI Noboru) (00416562)	京都府立大学・文学部・教授 (24302)	近世・地域史

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中村 治 (NAKAMURA Osamu) (10189029)	大阪公立大学・大学院現代システム科学研究科・客員研究員 (24405)	近代・医学史
研究分担者	平田 勝政 (HIRATA KatumasaKatumasa) (10218779)	鎮西学院大学・現代社会学部・教授 (37305)	近代・障害学
研究分担者	鈴木 則子 (SUZUKI Noriko) (20335475)	奈良女子大学・生活環境科学系・教授 (14602)	近世・医学史
研究分担者	山田 巖子 (YAMADA Itsuko) (20344583)	弘前大学・人文社会科学部・教授 (11101)	民俗学
研究分担者	細井 浩志 (HOSOI Hiroshi) (30263990)	活水女子大学・国際文化学部・教授 (37405)	古代・宗教史
研究分担者	有坂 道子 (ARISAKA Michiko) (30303796)	京都橘大学・文学部・教授 (34309)	近世・医学史
研究分担者	福田 安典 (FUKUDA Yasunori) (40243141)	日本女子大学・文学部・教授 (32670)	文学・文化史
研究分担者	大島 明秀 (OOSIMA Akihide) (50508786)	熊本県立大学・文学部・教授 (27401)	近世・文化史

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小林 丈広 (KOBAYASI Takehiro) (60467397)	同志社大学・文学部・教授 (34310)	近代・社会史
研究分担者	丸本 由美子 (MARUMOTO Yumiko) (60735439)	金沢大学・法学系・准教授 (13301)	近世・法制史
研究分担者	藤本 誠 (FUJIMOTO Makoto) (60779669)	慶應義塾大学・文学部（三田）・准教授 (32612)	古代・宗教史
研究分担者	瀧澤 利行 (TAKIZAWA Tosi yuki) (80222090)	茨城大学・教育学部・教授 (12101)	近世近代・医学史
研究分担者	小山 聡子 (KOYAMA Satoko) (80377738)	二松學舎大学・文学部・教授 (32664)	古代中世・宗教史
研究分担者	山下 麻衣 (YAMASHITA Mai) (90387994)	同志社大学・商学部・教授 (34310)	近代・看護史
研究分担者	吉田 洋一 (YOSIDA Yoichi) (90441716)	久留米大学・文学部・教授 (37104)	近世・思想史

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	赤司 友徳 (AKASHI Tomonori)		近代・研究補助
研究協力者	高久 彩 (TAKAKU Aya)		近代・研究補助
研究協力者	クウィーラ ダーヴィトドミニク (CHWILA David Dominik)		近世・欧米研究補助
研究協力者	末森 明夫 (SUEMORI Akio)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関